

平成28年度第2回 富士見市こども家庭福祉審議会会議録要旨

<日時> 平成28年10月19日(水) 午後1時30分～3時30分

<開催場所> 中央図書館 視聴覚ホール

<出欠状況>

関	矢島	石川順	増淵	林	田中	岩田
○	○	欠席	○	○	○	欠席
増田	南	石川泉	細野	熊谷	小森	大川
○	○	○	○	○	○	○
田村	子安					
○	○					

<事務局>

子ども未来部長 子育て支援課長 保育課長 みずほ学園長
 子育て支援課副課長 保育課副課長 保育課主査

<傍聴人>

0名

<次第>

1 開会

2 あいさつ 子ども未来部長・会長

3 議題

(協議事項)

(1) 子ども・子育て支援事業計画進捗状況について

- ・シート1 (教育・保育事業) (地域子ども・子育て支援事業)
- ・シート2 (次世代育成支援行動計画から引き継ぐ施策)

(2) その他

4 事務連絡

5 閉会

<議事>

(協議事項)

(1) 子ども・子育て支援事業計画推進状況について

・シート1 (教育・保育事業) (地域子ども・子育て支援事業)

第1節 教育・保育事業

1. 学校教育の提供 (幼稚園・認定こども園)

2. 保育の提供 (保育所・認定こども園・地域型保育事業)

～事務局より説明

【委員】隠れ待機児童という捉えがありますが、富士見市ではどのくらいなのでしょう。

【事務局】この4月1日で、いわゆる待機児童は36名の方がいらっしゃいます。隠れ待機児童というのは、保留通知を出した154名のうち、36名の待機児童を除いた、約110名の育児休暇を延長される方、あるいは働けたら入れたいという求職活動中の方のことになります。

【会長】平成29年度の数値を確認してもらいたと思います。1号では2,814人、2号では993人、3号では178人と767人ということで、平成28年度の計画書のおりの数値ということですね。

【事務局】この9月の議会の補正予算で、れんげこども園の増築により定員が60名ほど増える予定です。その内訳ですが、0・1・2歳で30名、3・4・5歳で30名で、細かく言うと0歳が6名、1・2歳で12名ずつで合計30名です。また、現在保育園を運営されている社会福祉法人で、場所は針ヶ谷ですが1か所小規模保育施設を今年度準備していただけるというお話があります。定員は0・1・2歳で15名を予定しています。その内訳ですが、0歳が3名、1・2歳で6名ずつの合計15名です。

よって、0・1・2歳でいうと45名の定員増を図らせていただく形を考えています。今後も取り組めるものはどんどん取り組んで特に0・1・2歳については受入れ枠を拡大していきたいと考えています。

【会長】それでは平成29年度はこの値でよろしいですか。

委員一同異議なし

第2節 地域子ども・子育て支援事業

1. 利用者支援

～事務局より説明

【委員】コンシェルジュ方式とは？

【事務局】コンシェルジュ方式というのは、保育所の利用だけではなくて保育所が利用できなかった場合に、代わりになるものはどういったサービスがあるかとか、話を聞いて何が一番適切なサービスかというのを担当の方で理解したうえで適切なサービスにつないでいくというのがコンシェルジュ方式です。

【委員】あまり聞きなれない、わかりづらい言葉だと思います。

【会長】このようなご意見がありましたらどうでしょうか。

【事務局】表現を変えていきたいと思っています。

【会 長】 それでは平成29年度の値は2か所に増やすということによろしいですか。

委員一同異議なし

2. 延長保育（時間外保育事業）

～事務局より説明

【会 長】 平成29年度値、実施総数1,126人、提供か所数20か所、平成28年度の実績は20か所ということで、ここはこれによろしいでしょうか。

委員一同異議なし

3. 放課後児童クラブ（放課後児童健全育成事業）

～事務局より説明

【会 長】 「指導員の確保を考えることが必要」という意見がありましたが、どのような状況ですか。

【事務局】 平成28年度は、年度当初から配置基準を満たす指導員を確保できています。

【会 長】 それでは平成29年度値は小学1～3年は725人、小学4～6年は275人、クラブ数は20か所。実績は21か所ですが、平成28年度と比べると1か所増えているのですね。

【事務局】 現時点で実績21か所あります。平成29年度値につきましては21か所ということで訂正をお願いします。

【委 員】 つるせ台が新設される分はその次の年ですか。

【事務局】 つるせ台は平成29年度に整備して、完成後に運用開始になると思います。

【委 員】 平成29年度の計画人数も今年の実績より少ないのですが、見直しはしないのですか。

【事務局】 今年度の実績がすでにこれを上回っている状況にありますので、こちらの方につきましても今年の実績値を踏まえて訂正させていただきたいのですがよろしいでしょうか。

今後、入所受付後であれば、より実態に近い平成29年度4月に受け入れられる数字が見えてくると思いますので、その申込みの状況によっては平成29年度値を変えさせていただきたいと思います。

委員一同異議なし

4. 子育て短期支援事業…富士見市緊急ファミリー・サポート事業

～事務局より説明

【会 長】平成28年度の計画値と同じということでもよろしいでしょうか。
「支援事業の内容について教えて下さい」という質問があります。簡単に説明してください。

【事務局】ファミリー・サポート・センターの事業とは別に緊急ファミリー・サポート事業という病児のお子さん、病気の回復中のお子さん、いわゆる病後児の預かりなど、それと宿泊を伴う児童の預かりが主な内容の事業です。

5. 乳児家庭全戸訪問事業

～事務局より説明

【事務局】今回、乳児の対象家庭数を出生数見込みから訪問対象家庭数に変更したいと思います。出生数だと年度での人数ですが、実際は生まれてから訪問するのが3か月以降のお子さんということになりますので、そこで時差が発生してしまいます。そのために訪問対象家庭数として、1～12月に生まれた乳児のいる家庭というふうに変更させていただきたいと考えています。

【委 員】私は母子保健推進員ですが、努力して連絡をつけて訪問していますが、中には拒否をする方とか連絡がつかない方がいらっしゃいます。訪問を拒否したり、連絡のつかないお母さんと赤ちゃんが虐待につながるような方であるとは一概に言えません。人を家にあげるのは嫌だが、子育てサークルなどで人とは接したいという人もいらっしゃいますから、私はこの実施率で充分だと思います。

【会 長】実際に担当している方からの貴重なご意見で、88%という数字は相当努力した数字ということですね。

【委 員】そういうことです。

【委 員】連絡がつかなかった家庭は、課題を抱えているケースが非常に多いんです。その辺のところを、実施できなかった家庭に対してはどのように対応をしていくのかというのが今後の課題だと思いますが。

【事務局】和光市の和光版ネウボラ事業では、アドバイスの場で、婚姻によらないでお子さんを産む場合、若年のご夫婦、あるいは里帰りして戻ってきて近所に誰も知り合いがない方、そういったリスクの高いと思われる方は最初にキャッチして支援をしています。本市では4月から、なるべく支援につなげられるように、妊娠届を市民課から子育て支援課に移しました。でも、健康増進センターで受けるのと違って、保健師がいまませんので保健師がアンケートを受けながら支援につなげるというわけ

にはいきません。今後は、保健師が受け、最初から支援が必要だと思われる方には手を差しのべるという方向に動きつつあります。「切れ目なく支援をつなげていく」とよく言われているんですけど、そういった最初からの取組をすることによってハイリスクの方がそういうところに陥らないようにする方向で考えています。

【会 長】平成29年度の値については平成28年度900件→905件、実施率88.0%→89.0%、出生数見込み1,023人→1,017人ということで少しずつ増えています。これらの数値を目指してということでよろしくをお願いします。

6. 養育支援訪問事業及び子どもを守る地域協議会（要保護児童対策地域協議会）その他の者による要保護児童に対する支援に資する事業
～事務局より説明

【会 長】平成27年度には1か所10人で計画していたけれども、実際には0だった。平成28年は10人を予定していたということですが。

【事務局】養育支援訪問事業を受ける家庭は、全戸訪問や保健師が訪問をして心配であるという家庭を、要保護児童対策地域協議会の中で協議をして、支援が必要だと判断した家庭に行くという段取りだということです。今後、協議をする対象家庭が現在あるとのこと。

【委 員】専門職の確保は難しい。そこに携わる人がどういうふうにやっていくかということを考えていく必要があるのかなという気がします。また、そのようなことができる人の緩和というか、市としても今後の在り方を見据えながら検討していただく必要があるのかなという気がします。

【会 長】人材確保となると予算もかかると思うので、既存の職員が医師からの許可を取るとするか、証明みたいなものをもらうとかそういうことで対応できれば即動けるのではないかと思うんですけど。これは変わらず平成29年度も1か所10人の枠を設けておくということでもよろしいですか。

委員一同異議なし

7. 子育て支援センター（地域子育て支援拠点事業）
～事務局より説明

【会 長】実績が9か所で、それに大型店等の中にそういった施設があったりして、そこを利用する人が出てきているということでした。平成29年度の値は引き続き10カ所で73,000人ということでもよろしいでしょ

うか。

委員一同異議なし

8. 一時預かり事業

～事務局より説明

【事務局】 2号認定（幼稚園）のところですが、幼稚園に行っているお子さんというのは全部今1号認定です。ここに2号認定と書いてありますが1号認定の数になります。これは、幼稚園を利用して就労が理由で一時預かりを利用している人数ということになります。

【事務局】 平成27年度の計画値は61,250人ですが、実際に利用したのは21,564人ということで、就労を要因として一時預かりを利用した人は少なかったということになります。

【会長】 平成29年度の値は1号認定が19,015人、2号認定が55,370人、保育所等によるが15,460人ということで、平成28年度より若干減っています。そういった数値で平成29年度はよろしいですか。

委員一同異議なし

9. 病児・病後児保育事業（病児保育事業）

～事務局より説明

【事務局】 平成29年度値のところですが、担当の説明で3か所、980人というところを、平成28年度実績値の4か所で2,205人にさせていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

また、ご意見にある周知のご案内につきましては、昨年度もこの審議会でご皆さんにご意見いただいた部分かと思っております。平成28年4月に市内で初めて病児保育室がスタートして市内の保育園、認定こども園、小規模保育施設、市内の幼稚園、放課後児童クラブへのポスターと、同じ内容のチラシを4月の中旬に各施設から全てのお子さんのご家庭に配布をお願いしたところです。病気の際はできれば親御さんと一緒にという思いもありますけれども、なかなか長期間お仕事を休めない方もいらっしゃいますので、その場合に利用していただくためにご案内させていただきました。

10. ファミリー・サポート・センター（子育て援助活動支援事業）

～事務局より説明

【会長】 平成28年度計画値に比べて平成29年度値は若干それぞれ増えています。この数値でよろしいでしょうか。

委員一同異議なし

1 1. 妊婦健康診査事業

～事務局より説明

【事務局】担当課は健康増進センターになりますが、事業計画の方では受診票という表記になっているところを、今回助成券に変更させていただきたいということです。

【会 長】平成29年度値は少しずつ増やしてありますね。この数字でよろしいですか。

委員一同異議なし

・シート2（次世代育成支援行動計画から引き継ぐ施策）

【会 長】ここからの施策は、方向性ということで継続、拡大、改善とありますが、意見が拮抗しているものを検討していきたいと思います。

1. 一人ひとりの個を伸ばす支援

（1）子どもの権利の尊重

1 子どもの権利擁護のための啓発と広報の推進

【事務局】「具体策はどのようなものでしょうか」というご意見がありましたので、お答えしたいと思います。いじめ問題も含めた子どもの権利に関する施策ということで、いじめ防止対策推進事業というものを子育て支援課で所管しております。昨年度いじめ防止のパンフレットを作成してお配りさせていただきましたが、今年は子どもの権利条約を含めたパンフレットにしようと思っております。

【会 長】拡大：9、継続：5、拡大ということでよろしいでしょうか。

【委 員】はい。

（2）児童虐待防止対策の充実

1 富士見市子どもを守る地域協議会（要保護児童等対策地域協議会）の充実

【会 長】継続：1、拡大：1、改善：12ですので、ここは改善ということでよろしいですか。

【委 員】はい。

（4）子どもの発達段階に応じた支援

小学生

5 小中学校の学校評議員制度の充実

【会 長】継続：5、改善：7になっています。

【委 員】学校評議員制度と学校運営支援者協議会が並走して、各学校で行われていることの意味合いが最近よくわからなくなってきました。私は運営支援者協議会の方に参加していますけれども、だぶっている部分があるのかなと思います。各学校にも戸惑いがあるのではないかと思います。どう差別化というか区別化していったらいいのか、そろそろ統一させてはとも思いますが、学校評議員制度は国の施策であります。

【事務局】国の制度と富士見市というところで差があるのだと思いますが、学校評議員の方はいわゆる校長先生の相談役というような意味合いが強いという話でした。教育活動の実施、地域社会及び家庭と学校との連携について意見を述べるなどの役割ということです。また、学校運営支援者協議会は、特色ある学校づくり、保護者や地域の声を取り入れて開かれた学校づくりなどがメインの仕事というふうの実施要項ではなっています。

【委 員】実際はやはり相談役で、PTA活動とか学校の中で評議員の人たちが意見を述べたのはあまり聞いたことがなく、形だけになっていたように思います。どういうふうなことをするかをもっと明確にする意味で改善だと思います。

【会 長】では改善ということによろしいでしょうか。

【委 員】はい。

9.国際性を育む教育の推進

【会 長】継続：2、拡大：11、改善：1ということで、拡大でよろしいですね。

【委 員】はい。

中・高生

2 中高生の居場所づくり

【会 長】継続：3、拡大：11で拡大にします。

5 国際性を育む教育の推進

【会 長】継続：3、拡大：10ということで拡大にします。

2.子育て家庭への支援の充実

(5) 仕事と子育ての両立に向けた支援〈国任意記載事項〉

4.再雇用の支援促進

【会 長】継続：7、拡大：7ということで拮抗しています。継続というより拡大ということによろしいでしょうか。

【委 員】はい。

3. 地域や社会が支える子育て支援

(1) 子どもが安心して生活するための支援

4 通学路の安全確保

【会 長】継続：8、拡大2、改善：1、数でいうと継続なのですが、委員意見に「10月よりつるせ台学区内に交通指導員が1名配置され、規定の30名になってしまいます」とありますが。

【委 員】交通指導員さんの富士見市の定員が30名になっているんですけど、今度規定の30名になってしまうので、今後配置を希望したい時に規定を変えるのか他を見直すのか、どちらかしないといけない状況にあるんですけども何かあったらすぐに対応が必要になる部分なので、小学校の保護者としてはここはちょっと見直しをと思い意見しました。

【事務局】、交通・管理課に確認します。

【会 長】では、通学路の安全確保については？

【事務局】学校教育課で定期的に安全の点検をしているのと、全庁的に建設部の方でも例えばカーブミラーの位置がどうか、そういうようなことを含めて定期的に安全点検なども実施していますので、そういう中で課題があれば修繕や改善をやっていると思います。

【会 長】わかりました、継続ということで。

6.子どもが避難できる家（110番三角旗）の設置の推進

【事務局】国や警視庁が推進している「子ども110番の家との違いがわからない」というご意見ですが、富士見市の子ども110番、黄色い三角旗はご存知でしょうか。これとの棲み分けはどうなっているのかということで調べましたところ、警視庁子ども110番の家というのがありましてこれはあくまでも東京都内の活動を支援するということで、東京都以外での活動については各活動地域での自治体のものをお使いくださいというホームページでのご案内でしたのでご報告します。

【会 長】110番三角旗というのはどこの地域にもありますが、それぞれの地域の旗ということによろしいですね。

【事務局】はい。

【会 長】継続ということでお願いします。

(3) 子どもの健全育成の充実

4 子ども会育成会への支援

【委員】富士見市に限らず、子ども会は非常に減少しているというか活発ではなくなってきました。この辺は課としてはどう考えていますか。

【事務局】富士見市においては、育成会活動は実は減っていません。ただし、子ども会育成会連合会（市全体で作っている連合会）につきましては、昨年度臨時総会を開き休会になっています。育成会数でいうと4育成会、小学校区は針ヶ谷小と諏訪小だけになって、他の小学校区は全部連合会から抜けてしまったためです。また、単位育成会は鶴瀬小などでは、町会との協力により全員加入を目指しており、会員数が激増しました。

【委員】子どもの育成について、社協の活動の中でも結構充実してやっています。育成会的な活動はパトロールや、下校時に見守ったりですとか積極的に高齢者がかかわっている地域もあるので、もっと情報を発信し宣伝をして、こういった仕事があるということを紹介したらいいのではないのでしょうか。

【事務局】昔と違って今は、地区社協があったり、まちづくり協議会があったり、いろいろな組織が各地域にあります。みずほ台小学校区は当初から育成会がない地域で歴史的にずっときていて、地区社協の子ども部会が率先してやっていたと思います。ふじみ野小校区も育成会はありません。子ども会育成会そのものは昭和の時代からずっときているものなので、地域ごとに育成会を活発にしている地域もあれば、そういった地区社協の子ども部会でやっていたり、いじめも含めて子どもたちに関心を持っていただくことも大事で、有り難いことだと思っています。

【委員】地域性というものもあり、また、年配の方が子どもとかかかわるとすごく喜ぶます。そういった方々が地域の中にいけば巻き込んで、子どもを育成とか大げさな人たちじゃなくても、学校とも相談しながら実施できるとまたちょっと変わっていくという気がします。

【会長】貴重なご意見ありがとうございます。

(2) その他について

なし

4. 事務連絡

現在、子どもの貧困対策推進整備計画を策定中です。第一回目の会議で

調査書の項目を審議いただきましたが、次回の審議会では皆さんに計画案を審議していただく予定となっておりますのでよろしくお願いします。

5. 閉 会 副会長